

〔科目名〕 知の挑戦Ⅰ				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 安田公治						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 農業と6次産業化							
〔演習内容〕 実地での農作業、農業従事者への聞き取り、アンケート調査 データ処理および分析手法について学ぶ。							
〔科目の到達目標〕 実地の農業生産及び販売を通して、経済学における生産や消費の意思決定行動を理解する。 独自にアンケートや聞き取り調査を企画し、データを入手して分析する力を身に着ける。							
〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2 ○	DP3 ○	DP4 ○	DP1 ○	DP2	DP3	
〔前提条件〕 なし							
〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等） 農作業や聞き取り調査を通して、課題や改善策を積極的に提案する能力を評価する。 また得たデータの適切な処理の方法を身に着けているかも評価する。							
〔教科書等〕 新しい農業経済論 ― ミクロ・マクロ経済学とその応用 新版. 山口三十四、衣笠智子、中川雅嗣.(2020). 有斐閣ブックス							
〔実務経歴〕 なし							
授業スケジュール							
時期		テーマと内容					
4月～5月初旬		経済学と農業の関係についての説明 農作業の詳細な生産計画を立てる。					
5月中旬～10月		実地での農作業を行う。 あおもりマルシェでの出展、出展者や運営者への聞き取り調査 学祭での販売 卒業論文についてのテーマを各自考える。					
11月～2月		生産計画と実際の収益との比較、次期の生産計画への改善点について考える。 農作業や販売活動から得たデータをまとめる。 自分で仮説を立て、必要なデータを入手したうえで統計学的な分析を行えるようにする。					
3月		来年度の生産計画の大枠の立案。					